

城戸幡太郎文献目録 (戦前編)

平 田 勝 政

A Bibliography of Kido Mantaro before World War II

Katsumasa HIRATA

はじめに

1. 本目録は、大正・昭和の時代を中心に日本の心理学・教育科学（特殊教育を含む）の発展に指導的役割を果たした城戸幡太郎（1893～1985）の業績（著書・論文等）を、戦前に限定して年代順に配列・編成したものである。すでに本誌には日本の特殊教育の発展に貢献した川本宇之介（39号）、乙竹岩造（50号・51号）、樋口長市（52号）の目録を発表してきたが、本目録はその続編である。
2. 目録作成の意図には2つある。ひとつは、わが国における「特殊教育」関係用語・概念の形成過程とその諸相を解明する作業の一環として、城戸らを中心とする戦前の教育科学運動の特殊教育論を解明するためである。いまひとつは、1999～2001年度文部省科研費・基盤研究A「20世紀優生学が障害者の生存・生活・教育に及ぼした影響に関する総合的研究」（研究代表者：中村満紀男・筑波大）の研究分担者（日本担当）として、城戸らの教育科学運動への優生学の影響と特殊教育の関係を解明するためである。
3. 本目録の作成にあたっては、1984年度東京都立大大学院・山住ゼミ（日本教育学説史研究）にて発表した「城戸幡太郎文献目録（その1）—1916～1931年—」と下記の①②の目録を参考にした。記して感謝する。
 - ①鈴木秀一・廣川和子：城戸幡太郎先生著作・論文目録「北海道大学教育学部紀要」第44号 pp. 91-108 1984年（戦前関係は225件）
 - ②高橋智：城戸幡太郎著作文献目録（高橋智・清水寛著『城戸幡太郎と日本の障害者教育科学』所収 多賀出版）pp.625-672 1998年（戦前関係は374件）しかしながら城戸の残した業績は膨大であり、労作の①②の目録にも多くの遺漏が見られる。本目録では約120件が補充されている。本目録が活用されて今後様々な問題意識から城戸研究が発展することを願ってやまない。
4. 収録の範囲は、著書・論文に限らず書評・解説・新聞記事なども含み、城戸の業績を極力網羅することに努めた。また関連資料も、No欄に*印をつけて、年代順に該当箇所挿入した。備考欄中の印は、それぞれ★印＝「特殊教育」関係、●印＝優生学関係の記述を含むもの、*印＝上記①②の目録に収録されてない文献を意味する。また、Mは明治、Tは大正、Sは昭和の略である。
5. 本目録は、戦前の城戸の業績の大部分を網羅していると考えられるが、個人の力には限りがあり思わぬ遺漏もあると予想される。また法政大学新聞の欠号など所蔵不明で未確認のものも存在している。ご教示いただければ幸いである。最後に文献の収集にあたりお世話になった国立国会図書館をはじめ多くの図書館・資料室とその関係者に心から謝意を表します。

| No | 著書・論文名 | 誌名・巻号／発行所 | 頁 | 発行年月 | 備考 |
|----|---|---------------------|---------|--------------|----|
| 0 | (東京帝国大学文学部心理学選科卒業論文) 書の心理学的研究 | | | 1916(T.5) | |
| 1 | (応問) 書の巧拙をめぐって | 「心理研究」第60号 | 111-114 | 1916(T.5)-12 | * |
| 2 | (応問) 自由意志に関する諸説 | 「教育学術界」第34巻第6号 | 89-91 | 1917(T.6)-3 | * |
| 3 | 聯想及び想像の民族的研究—主としてト筮発達の方面より観たる考察— | 「心理研究」第68号(第12巻第2冊) | 24-46 | 1917(T.6)-8 | |
| 4 | 既刊「心理叢書」に対する疑問及び批評 | 「心理研究」第68号 | 117-126 | 1917(T.6)-8 | |
| * | 桑田芳蔵:「靈魂信仰と祖先崇拜」に対する城戸君の批評に答ふ | 「心理研究」第69号(第12巻第3冊) | 70-76 | 1917(T.6)-9 | |
| * | 村瀬雄平:城戸君の批評に答ふ | 「心理研究」第69号 | 77-92 | 1917(T.6)-9 | |
| 5 | (海外の新著新論文) ゲーツ:男女の記憶及推理の能率に於ける実験/ゴールト:社会關係に於ける心理学/スターチ:心的特性に於ける兄弟姉妹の類似/スターテバント:蠅の一種に於ける雌雄の認識及雌雄淘汰の問題についての実験 | 「心理研究」第69号 | 98-102 | 1917(T.6)-9 | |
| 6 | (応問) 文字の大きさについて/暗示作用の心理的根拠 | 「心理研究」第70号(第12巻第4冊) | 106-111 | 1917(T.6)-10 | * |
| 7 | 心理学に於ける民族的研究の方法について—聯想及び想像の民族的研究(その2)— | 「心理研究」第71号(第12巻第5冊) | 21-43 | 1917(T.6)-11 | |
| 8 | (海外の新著新論文) グロウブス:社会学と精神分析的心理学 | 「心理研究」第71号 | 108-109 | 1917(T.6)-11 | |
| 9 | 教科及び教科書の品等より観たる徳川時代の教育の態度(上) *石川謙と共著 | 「心理研究」第72号(第12巻第6冊) | 50-69 | 1917(T.6)-12 | |
| 10 | 私の疑問及び批評に対する御教示を謝す—桑田芳蔵氏「城戸君の批評に答ふ」に対して— | 「心理研究」第72号 | 88-93 | 1917(T.6)-12 | |
| 11 | 高橋讓氏著「心理学」及び其に対する批評を読み | 「心理研究」第72号 | 104-110 | 1917(T.6)-12 | |
| 12 | 教科及び教科書の品等より観たる徳川時代の教育の態度 *石川謙と共著 | 「心理研究」第73号(第13巻第1冊) | 61-75 | 1918(T.7)-1 | |
| 13 | 書と人性 | 「人性」第14巻第1号 | 11-20 | 1918(T.7)-1 | * |
| 14 | 教科及び教科書の品等より観たる徳川時代の教育の態度 *石川謙と共著 | 「心理研究」第74号(第13巻第2冊) | 50-56 | 1918(T.7)-2 | * |
| 15 | 書と美的享樂—書と人性・その二— | 「人性」第14巻第2号 | 80-87 | 1918(T.7)-2 | * |
| 16 | 書と美的享樂(二) | 「人性」第14巻第3号 | 129-138 | 1918(T.7)-3 | * |
| 17 | 労力と体力との關係に関する研究の方法について | 「心理研究」第75号(第13巻第3冊) | 52-63 | 1918(T.7)-3 | |
| 18 | 村瀬氏によりて遺されたる研究問題 | 「心理研究」第75号 | 93-102 | 1918(T.7)-3 | |
| 19 | 教科及び教科書の品等より観たる徳川時代の教育の態度(三) *石川謙と共著 | 「心理研究」第83号(第14巻第5冊) | 43-60 | 1918(T.7)-11 | |
| 20 | (応問) 価値の研究参考書について | 「心理研究」第83号 | 108 | 1918(T.7)-11 | * |
| 21 | 児童の神に対する態度の発達 | 「児童研究所紀要」第2巻 | 315-363 | 1918(T.7)-12 | |
| 22 | (海外新著論文抄録) 出生時の体重と發育能力との關係/児童と入学/両親の經濟的地位と子供の智能/両手利と言語發達の遲滞/精神薄弱者と遺傳/兄弟姉妹の精神的指數/児童による繪畫の美的評価 | 「児童研究所紀要」第2巻 | 省略 | 1918(T.7)-12 | ★◎ |
| 23 | 『書き方の分析的研究』(心理叢書第8,9,10) *松本亦太郎・増田惟茂と共著『書及び書方の研究』(全586頁) 所収 | 心理研究会 | 97-517 | 1919(T.8)-4 | |
| 24 | 先験心理学と経験心理学(尼子止編『最近心理学の進歩』所収) *1919.3.13付 | 大日本學術協會 | 373-436 | 1919(T.8)-5 | * |
| 25 | 性の教育について | 「親の為」第4号 | 17-25 | 1919(T.8)-7 | * |
| 26 | 児童の考えた男女の意味とその発達 | 「児童研究所紀要」第3巻 | 543-651 | 1919(T.8)-8 | |
| 27 | (海外新著論文抄録) 児童の運動能力についての実験的研究/写真による智能の評価 | 「児童研究所紀要」第3巻 | 省略 | 1919(T.8)-8 | |
| 28 | 教育とは「汝」を対象とした「我」の自覚である | 「教育論叢」第2巻第2号 | 41-60 | 1919(T.8)-8 | |

| No. | 著書・論文名 | 誌名・巻号/発行所 | 頁 | 発行年月 | 備考 |
|-----|---|----------------------|-------------|---------------|----|
| 29 | (応問)「叱る」と「怒る」との心理作用の区別 | 「心理研究」第93号(第16巻第3冊) | 347-348 | 1919(T.8)-9 | * |
| 30 | (応問)鏡面に現はるる三種の映像 | 「心理研究」第95号(第16巻第5冊) | 581 | 1919(T.8)-11 | * |
| 31 | 教育価値論(教育論叢編集部編『学習経済論』所収) | 文教書院 | 115-150 | 1919(T.8)-12 | |
| 32 | (応問)コソバユイ感覚(操覚)の発生的意義 | 「心理研究」第96号(第16巻第6冊) | 694-695 | 1919(T.8)-12 | * |
| 33 | (応問)書き方の時間配当について/小学児童の言語発達と精神発達 | 「心理研究」第97号(第17巻第1冊) | 108-110 | 1920(T.9)-1 | * |
| 34 | 文化の改造と心理学(1920.3.5付) | 「心理研究」第100号(第17巻第4冊) | 460-489 | 1920(T.9)-4 | |
| 35 | 一般能力の仮定について(1) | 「哲学雑誌」第35巻第401号 | 69-97 | 1920(T.9)-7 | |
| 36 | ト筮の起源と聯想の形式(1)-聯想及び想像の民族的研究(その3)- | 「心理研究」第103号(第18巻) | 54-64 | 1920(T.9)-7 | |
| 37 | 一般能力の仮定について(2) | 「哲学雑誌」第35巻第402号 | 75-106 | 1920(T.9)-8 | |
| 38 | ト筮の起源と聯想の形式(2)-聯想及び想像の民族的研究(その3)- | 「心理研究」第104号(第18巻第2冊) | 123-146 | 1920(T.9)-8 | |
| 39 | トーテミズム成立の条件について-ト筮の起源と聯想の形式(その3)- | 「心理研究」第105号(第18巻第3冊) | 230-249 | 1920(T.9)-9 | |
| 40 | (応問)作業の練習について | 「心理研究」第105号(第18巻第3冊) | 272-274 | 1920(T.9)-9 | * |
| 41 | トーテミズム成立の条件について-ト筮の起源と聯想の形式(その4)- | 「心理研究」第106号(第18巻第4冊) | 291-316 | 1920(T.9)-10 | |
| 42 | 文化の人格的統一としての個性(教育論叢編集部編『個性教育論』所収) | 文教書院 | 223-246 | 1920(T.9)-12 | |
| 43 | トーテミズム成立の条件について-ト筮の起源と聯想の形式(その5・完)- | 「心理研究」第109号(第19巻第1冊) | 52-70 | 1921(T.10)-1 | |
| 44 | 教育の理想と文化の革命 | 「創造」第3巻第1号 | 19-25 | 1921(T.10)-1 | |
| 45 | 教育の対象としての女性 | 「心理研究」第114号(第19巻第6冊) | 407-416 | 1921(T.10)-6 | |
| 46 | 教育の対象としての女性 | 「心理研究」第115号(第20巻第1冊) | 511-535 | 1921(T.10)-7 | |
| 47 | (応問)城戸式検査用紙について | 「心理研究」第116号(第20巻第2冊) | 159 | 1921(T.10)-8 | * |
| 48 | 城戸訳:ナトルプ著『心理学概要』(大村論文叢書第13編) | 大村書店 | 全133頁 | 1921(T.10)-10 | |
| 49 | 異塾主義の教育 | 「創造」第3巻第10号 | 30-36 | 1921(T.10)-10 | |
| 50 | (応問)教育とは何ぞや | 「創造」第3巻第11号 | 76 | 1921(T.10)-11 | * |
| 51 | 児童の宗教心と宗教教育の意義 | 「教育論叢」第6巻第5号 | 129-151 | 1921(T.10)-11 | |
| 52 | 精神検査に於ける能力評価の標準について | 「心理研究」第124号(第21巻第4冊) | 233-150 | 1922(T.11)-4 | |
| 53 | 女神と子産神との信仰について | 「心理研究」第127号(第22巻第1冊) | 455-466 | 1922(T.11)-7 | |
| 54 | 女神と子産神との信仰について(承前) | 「心理研究」第128号(第22巻第2冊) | 543-562&542 | 1922(T.11)-8 | |
| 55 | ラッセル氏の心理学説を評す | 「哲学雑誌」第37巻第428号 | 88-110 | 1922(T.11)-10 | |
| 56 | 宮本和吉ほか編輯『岩波哲学辞典』 <執筆項目> 「一般智能」「因果的心理学」「応用心理学」「書き方」「客観的心理学」「質的心理学」「宗教心理学」「書学」「心的エネルギー」「心的過程」「心科学」「性格学」「精神技術学」「精神生物学」「精神的動作」「精神動作学」「精神分析」「精神力学」「生理学的心理学」「特殊心理学」「人間工学」「能率」「表象力学」「複合」「複化実験」「フーリエの定理」「文化心理学」「分析的心理学」「分配曲線」「右利-左利」「目的心理学」「唯理的心理学」「力学的心理学」「両眼の対象」「量的心理学」 | 岩波書店 | 省略 | 1922(T.11)-11 | * |
| 57 | 政治家と草花との品等 | 「心理研究」第131号(第23巻第1冊) | 335-339 | 1922(T.11)-11 | |
| 58 | ライブチッヒ消息 *千輪浩苑 | 「心理研究」第133号(第23巻第2冊) | 76-80 | 1923(T.12)-1 | |
| 59 | ベルリンの応用心理学会 | 「心理研究」第134号(第23巻第3冊) | 85-96 | 1923(T.12)-2 | |
| 60 | ライブチッヒ大学心理学研究室のクリスマス | 「心理研究」第136号(第23巻第4冊) | 64-66 | 1923(T.12)-4 | |

| No | 著書・論文名 | 誌名・巻号/発行所 | 頁 | 発行年月 | 備考 |
|-----|---|------------------------|---------|---------------|----|
| 61 | 海外通信 (1922.11.17付, 同11.23付) *松本亦太郎, 千輪浩宛 | 「日本心理学雑誌」第2号 (第1巻第2冊) | 282-288 | 1923(T.12)-4 | |
| 62 | ライブナッヒの心理学と現代独逸心理学の傾向 (1923.5.6) | 「日本心理学雑誌」第3号 (第1巻第3冊) | 435-448 | 1923(T.12)-7 | |
| 63 | 海外通信 (1923.2.26付) *増田惟茂宛 | 「日本心理学雑誌」第3号 (第1巻第3冊) | 455-458 | 1923(T.12)-7 | |
| 64 | 海外通信 (1923.6.30付) *増田惟茂, 松本亦太郎宛 | 「日本心理学雑誌」第4号 (第1巻第4冊) | 555-559 | 1923(T.12)-12 | |
| 65 | 海外通信 *ライブナッヒより松本亦太郎宛 | 「日本心理学雑誌」第2巻第1冊 | 150 | 1924(T.13)-3 | |
| 66 | 海外通信 (1924.3.22付) *バリより千輪浩宛 | 「日本心理学雑誌」第2巻第3冊 | 373-379 | 1924(T.13)-7 | |
| 67 | 心理学的認識の原理 | 「哲学雑誌」第39巻第454号 | 1-28 | 1924(T.13)-11 | |
| 68 | 生活と好尚—女の絵姿に表現された欧州民族の新しい態度— | 「帝国大学新聞」第104号 | 4面 | 1925.1.26付 | * |
| 69 | 表現的心理学の方法について | 「日本心理学雑誌」第9号 (第3巻第1冊) | 58-89 | 1925(T.14)-2 | |
| 70 | 女の絵姿に表現された欧州民族の新しい態度 | 「心理研究」第158号 | 213-214 | 1925(T.14)-4 | * |
| 71 | 表現的心理学の方法について | 「日本心理学雑誌」第10号 (第3巻第2冊) | 228-235 | 1925(T.14)-5 | |
| 72 | 歴史的現実性と心理学 | 「思想」第43号 | 34-58 | 1925(T.14)-5 | |
| 73 | ヨハンネス・フォルケルトの心理学と確実性の自覚 | 白楊会編輯「自由教育」第6号 | 11-25 | 1925(T.14)-5 | |
| 74 | 歴史的現実性と心理学 | 「自由教育」第7月号 | | 1925(T.14)-7 | |
| 75 | 歴史的現実性と心理学 (続) | 「自由教育」第6号 | | 1925(T.14)- | |
| 76 | 教育に於ける心理学的方法の発展 | 白楊会編輯「自由教育」7月号 | 41-52 | 1925(T.14)-7 | |
| 77 | 『文化と個性と教育』 | 文芸書院 | 全240頁 | 1925(T.14)-10 | |
| 78 | 新しい心理学への階梯(1)—表現的心理学の提唱— | 「教育論叢」第14巻第4号 | 81-88 | 1925(T.14)-10 | |
| 79 | 新しい心理学への階梯(2)—表現的心理学の提唱— | 「教育論叢」第14巻第5号 | 51-58 | 1925(T.14)-11 | |
| 80 | 社会の意識と意識の社会性 | 「社会学雑誌」第20号 | 21-32 | 1925(T.14)-12 | |
| 81 | 形態心理学の形態 | 「心理学研究」第1巻第1輯 | 157-163 | 1926(T.15)-4 | |
| 82 | 精神科学的心理学の科学的精神 | 「教育心理研究」第1巻第2号 | 112-121 | 1926(T.15)-4 | |
| 83 | 科学の区劃及び学科の整理について | 「帝国大学新聞」第168号 | 6面 | 1926.5.31付 | * |
| 84 | (解説評論) リヴァーズ『心理学と政治』 | 「心理学研究」第1巻第2・3輯 | 340-344 | 1926(T.15)-6 | |
| 85 | 如何なる教育者を要求するか | 「自由教育研究」第1巻第6号 | 17 | 1926(T.15)-6 | |
| 86 | 『心理学の問題』 | 岩波書店 | 全320頁 | 1926(T.15)-7 | |
| 87 | 社会学的認識に於ける説明と理解と批判 | 「社会学雑誌」第28号 | 16-32 | 1926(T.15)-8 | |
| 88 | 色及び音の調和に対する感情の現はれ方 | 「心理学研究」第1巻第4輯 | 433-452 | 1926(T.15)-8 | |
| 89 | ブレンターノの学徒 | 「心理学研究」第1巻第4輯 | 547-551 | 1926(T.15)-8 | |
| 90 | (解説評論) 松本亦太郎『智能心理学』 | 「心理学研究」第1巻第5輯 | 734-739 | 1926(T.15)-10 | |
| 91 | (解説評論) 三木清『パスカルに於ける人間の研究』 | 「心理学研究」第1巻第5輯 | 739-742 | 1926(T.15)-10 | |
| 92 | (解説評論) マクス・シェラー『知識の形式と陶冶』 | 「心理学研究」第1巻第5輯 | 742-745 | 1926(T.15)-10 | |
| 93 | オイケンの哲学と現代の心理学及び教育学 | 「心理学研究」第1巻第5輯 | 765-770 | 1926(T.15)-10 | |
| 94 | 児童に於ける特殊なる知能の構造 | 「心理学研究」第1巻第6輯 | 909-933 | 1926(T.15)-12 | ★ |
| 95 | 植崎浅太郎『心理学概論—巻』 | 「心理学研究」第1巻第6輯 | 977-985 | 1926(T.15)-12 | |
| * | (書評) 留岡清男: 城戸幡太郎『心理学の問題』 | 「心理学研究」第1巻第6輯 | 985-993 | 1926(T.15)-12 | |
| 96 | 精神と人間と文化—留岡君の批評に答ふ— | 「心理学研究」第2巻第1輯 | 128-134 | 1927(S.2)-2 | |
| 97 | (解説) ロシアの哲学及び心理学 *山下俊郎・波多野完治と共同 | 「心理学研究」第2巻第1輯 | 135-143 | 1927(S.2)-2 | |
| 98 | (解説) ウチツ『性格学』 | 「心理学研究」第2巻第1輯 | 152-162 | 1927(S.2)-2 | |
| 99 | (解説) ベーン『教育学的認識批判』 | 「心理学研究」第2巻第1輯 | 162-166 | 1927(S.2)-2 | |
| 100 | (解説) 朱君毅『現代中国人物之地理教育と職業的分布』 | 「心理学研究」第2巻第1輯 | 167-169 | 1927(S.2)-2 | |
| 101 | 知覚に於ける形態の表象と関係の判断 | 「心理学研究」第2巻第2輯 | 262-282 | 1927(S.2)-4 | |
| 102 | 教える心と心の教え | 「教育研究」第315号 | 19-23 | 1927(S.2)-6 | |

| № | 著書・論文名 | 誌名・巻号／発行所 | 頁 | 発行年月 | 備考 |
|-----|---|-----------------|-----------|--------------|----|
| 103 | 国語の文字的表現と音声的表現 | 「心理学研究」第2巻第3輯 | 400-416 | 1927(S.2)-6 | |
| 104 | (シンボジウム) 感覚の概念に就いて * 田辺元・黒田亮・横山松三郎・高木貞二 ・増田惟茂と共に | 「心理学研究」第2巻第3輯 | 474-485 | 1927(S.2)-6 | |
| 105 | 増田惟茂氏著『実験心理学序説』を讀みて | 「心理学研究」第2巻第3輯 | 526-538 | 1927(S.2)-6 | |
| 106 | 批評の辯、答辯の解 | 「心理学研究」第2巻第4輯 | 774-780 | 1927(S.2)-8 | |
| 107 | 生命形態と意識形態—山内孝一氏の御批評に 答ふ— | 「生理学研究」第4巻第9号 | 557-582 | 1927(S.2)-9 | |
| 108 | 知覚の構造と其の法則性について | 「心理学研究」第2巻第5輯 | 873-884 | 1927(S.2)-11 | |
| 109 | (解説) 心理学と時間の問題 | 「心理学研究」第2巻第5輯 | 933-939 | 1927(S.2)-11 | |
| 110 | 婦人職業の社会的意味—輿論の形式について試み た一つの社会心理学的考察— | 「心理学研究」第2巻第6輯 | 1018-1040 | 1927(S.2)-12 | |
| 111 | (解説) ロシアの民族性に関する研究 | 「心理学研究」第2巻第6輯 | 1084-1090 | 1927(S.2)-12 | |
| 112 | (解説) バウムガルテン『民族の職業適性』 | 「心理学研究」第2巻第6輯 | 1090-1097 | 1927(S.2)-12 | |
| 113 | 法政大学心理学実験室の仕事について | 「心理学研究」第2巻第6輯 | 1120-1121 | 1927(S.2)-12 | |
| 114 | ライブチットと独逸心理学 | 「心理学研究」第2巻第6輯 | 1123 | 1927(S.2)-12 | * |
| 115 | デュルケム十年祭記念講演会 | 「心理学研究」第2巻第6輯 | 1124-1125 | 1927(S.2)-12 | |
| 116 | (解説) ブーゼマン『発達の律動の表現としての子 供の言葉』 | 「心理学研究」第3巻第1輯 | 132-135 | 1928(S.3)-2 | |
| 117 | 救済事業の使命 | 「人道」第268号 | 4-5 | 1928(S.3)-2 | |
| 118 | 心理学的実験としての共同発生活 (日本心理学会 編『心理学論文集I』所収) | 岩波書店 | 48-51 | 1928(S.3)-5 | |
| 119 | 芸術形態と人間形態 | 「思想」第80号 | 1-16 | 1928(S.3)-6 | |
| 120 | 思考心理学と世界観の心理学 | 「心理学研究」第3巻第5輯 | 419-429 | 1928(S.3)-6 | |
| 121 | 精神科学と社会科学—特に心理学と経済学との関 係について—(『法政大学五十週年記念論文集』所 収) | 法政大学論集編輯所発行 | 51-81 | 1928(S.3)-9 | |
| 122 | 神と命—古代日本民族の言霊信仰について— | 「心理学研究」第3巻第5輯 | 644-672 | 1928(S.3)-10 | |
| 123 | 逝けるマクス・シェーラーと来るべき心理学の問題 | 「心理学研究」第3巻第5輯 | 710-717 | 1928(S.3)-10 | |
| 124 | 実践的判斷と疑惑的方法—カント倫理学について の一省察— | 「哲学雑誌」第43巻第500号 | 266-298 | 1928(S.3)-10 | |
| 125 | マドンナの芸術に表現された宗教意識の分析 | 「心理学研究」第4巻第1輯 | 49-64 | 1929(S.4)-3 | |
| 126 | 間違えた「心理学史」と取違へた「現代の心 | 「心理学研究」第4巻第1輯 | 171-174 | 1929(S.4)-3 | |
| 127 | 国語学に於ける右翼小児病 | 「心理学研究」第4巻第1輯 | 174-176 | 1929(S.4)-3 | |
| 128 | ブレンターノ学派の感情論と国語の副詞について | 「心理学研究」第4巻第4輯 | 569-579 | 1929(S.4)-8 | |
| 129 | 精神科学と教育的弁証法 | 「教育論叢」第22巻第3号 | 1-16 | 1929(S.4)-9 | |
| 130 | 芸術趣味の趨異性 | 「科学知識」第9巻第10号 | 11-15 | 1929(S.4)-10 | * |
| 131 | 児童心理学と職業心理学 | 「法政大学学生会報」第6号 | 2面 | 1929.10.23付 | * |
| 132 | 国語の表現と神話の解釈—日本神話に於ける唯物 史観的世界観の表現— | 「心理学研究」第4巻第5輯 | 711-742 | 1929(S.4)-10 | |
| 133 | 土田杏村氏の『国文学の哲学的研究』について | 「心理学研究」第4巻第5輯 | 743-750 | 1929(S.4)-10 | |
| 134 | (文献) チザルツ『精神科学としての文学史』 | 「心理学研究」第4巻第5輯 | 751-753 | 1929(S.4)-10 | |
| 135 | (文献) デンプ『業と憎としての世界史—一つの比 較文化哲学』 | 「心理学研究」第4巻第5輯 | 119-122 | 1929(S.4)-10 | |
| 136 | (文献) スリクター『北米の産業に於ける労働者政 策の変遷』 | 「心理学研究」第4巻第6輯 | 109-110 | 1929(S.4)-12 | |
| 137 | (文献) ソロキン及チンメルマン『農民の政治的態 度』 | 「心理学研究」第4巻第6輯 | 110-113 | 1929(S.4)-12 | |
| 138 | 産業と心理学の合理化 | 「心理学研究」第4巻第6輯 | 131-132 | 1929(S.4)-12 | |

| No | 著書・論文名 | 誌名・巻号/発行所 | 頁 | 発行年月 | 備考 |
|-----|--|-----------------|---------|--------------|----|
| 139 | 形態説と表現説（日本心理学会編『心理学論文集（II）』所収） | 岩波書店 | 250-255 | 1929(S.4)-12 | |
| 140 | 日本語の原始形態（日本心理学会編『心理学論文集（II）』所収） | 岩波書店 | 306-311 | 1929(S.4)-12 | |
| 141 | 『古代日本人の世界観－日本の言語と神話－』 | 岩波書店 | 全277頁 | 1930(S.5)-2 | |
| 142 | 数型についての実験的研究 * 故今井貢と共著 | 「心理学研究」第5巻第1輯 | 41-71 | 1930(S.5)-2 | |
| * | 土田杏村：「国文学の哲学的研究」の批評に答ふ－城戸幡太郎氏に－ | 「心理学研究」第5巻第1輯 | 113-129 | 1930(S.5)-2 | |
| 143 | 土田氏の答弁に対する編輯者としての弁解 | 「心理学研究」第5巻第1輯 | 166-167 | 1930(S.5)-2 | |
| * | 土屋文明：城戸幡太郎君著『古代日本人の世界観』を読む | 「法政大学校友会報」第12号 | 4面 | 1930.3.8付 | |
| 144 | 伊藤吉之助編輯『岩波哲学小辞典』 〈執筆項目〉は不明 * 1938年増訂版発行 | 岩波書店 | 全1021頁 | 1930(S.5)-3 | * |
| 145 | 裁縫技能と評価能力－和洋女子専門学校よりの労作－ * 波多野完治と共著 | 「心理学研究」第5巻第2輯 | 311-317 | 1930(S.5)-4 | |
| 146 | 芸術的理解力の mental test と趣味的判断力の mental test | 「心理学研究」第5巻第2輯 | 345-349 | 1930(S.5)-4 | |
| 147 | 寄生虫の存在は児童の精神に影響を及すか | 「法政大学新聞」第3号 | 2面 | 1930.7.2付 | * |
| 148 | 言語の発達に就て | 「教育研究」第360号（臨増） | 24-33 | 1930(S.5)-7 | * |
| 149 | 裁縫技能と評価能力－和洋女子専門学校よりの労作－ * 波多野完治と共著 | 「心理学研究」第5巻第4輯 | 605-618 | 1930(S.5)-8 | |
| 150 | 形態心理学の誤謬 | 「哲学雑誌」第45巻第523号 | 25-50 | 1930(S.5)-9 | |
| 151 | 『哲学論文集』を読みて | 「心理学研究」第5巻第6輯 | 976-982 | 1930(S.5)-12 | |
| 152 | プロレタリアの社会事業 | 「社会事業研究」第19巻第1号 | 20-24 | 1931(S.6)-1 | |
| 153 | 或る形態心理学者の誤解 | 「哲学雑誌」第46巻第527号 | 92-98 | 1931(S.6)-1 | |
| 154 | (文献) ライグベルト「表現心理学と実践教育学」 | 「心理学研究」第6巻第1輯 | 117-119 | 1931(S.6)-2 | |
| 155 | (文献) ペーターゼン「教育的性格学の基本問題」 | 「心理学研究」第6巻第1輯 | 119-120 | 1931(S.6)-2 | |
| 156 | (文献) ボーベルタッハ「筆蹟は信頼されるか」 | 「心理学研究」第6巻第1輯 | 120-121 | 1931(S.6)-2 | |
| 157 | 小学校児童に於ける助詞の表現の発達 1 * 松本金寿と共著 | 「教育心理研究」第6巻第3号 | 18-54 | 1931(S.6)-3 | |
| 158 | 『心理学概説』 | 岩波書店 | 全393頁 | 1931(S.6)-4 | |
| 159 | 意識の表現性と精神的動作－日本心理学史の序曲を奏する一つのラプソディー－（松本亦太郎博士在職25年記念『心理学及芸術の研究』上巻 所収） | 改造社 | 5-29 | 1931(S.6)-4 | |
| 160 | 小学校児童に於ける助詞の表現の発達 2 * 松本金寿と共著 | 「教育心理研究」第6巻第5号 | 16-45 | 1931(S.6)-5 | |
| 161 | 小学校児童に於ける助詞の表現の発達 3 * 松本金寿と共著 | 「教育心理研究」第6巻第6号 | 1-42 | 1931(S.6)-6 | |
| 162 | 子供と国語（日本両親再教育協会編『子供研究講座』第10巻 所収） | 先進社 | 183-286 | 1931(S.6)-8 | |
| 163 | 表現と技巧－正木君の批評に答ふ－ | 「心理学研究」第6巻第4輯 | 605-610 | 1931(S.6)-8 | |
| 164 | 児童語の表現形態について(1) | 「教育心理研究」第6巻第9号 | 13-32 | 1931(S.6)-9 | |
| 165 | 刺戟の構造と表現の性格（日本心理学会編『心理学論文集（III）』所収） | 岩波書店 | 35-38 | 1931(S.6)-10 | |
| 166 | 人間学としての心理学の問題 | 「理想」第27号 | 70-85 | 1931(S.6)-10 | |
| 167 | 児童語の表現形態について 2 | 「教育心理研究」第6巻第10号 | 8-25 | 1931(S.6)-10 | |
| 168 | 独逸における二、三の「教育科学論」について | 附録「教育」第1号 | 49-53 | 1931(S.6)-10 | |
| 169 | 仮名遣の歴史主義と実用主義 | 附録「教育」第2号 | 19-26 | 1931(S.6)-11 | |
| 170 | 子供の言葉 | 「兵庫教育」第505号 | 9-11 | 1931(S.6)-11 | * |

| No. | 著書・論文名 | 誌名・巻号／発行所 | 頁 | 発行年月 | 備考 |
|-----|---|-----------------|---------|--------------|----|
| 171 | こどもとことばの問題 | 「家庭」第1巻第6号 | 124-131 | 1931(S.6)-11 | * |
| 172 | 哲学的人間学(岩波講座哲学第8輯体系的研究1) | 岩波書店 | 全53頁 | 1932(S.7)- | |
| 173 | 〈問答解答〉ナトルブの陶冶の本質について | 附録「教育」第4号 | 56-57 | 1932(S.7)-1 | |
| 174 | 『現代心理学の主要問題』 | 同文書院 | 全397頁 | 1932(S.7)-3 | |
| 175 | 知識と技能 *波多野完治と共著 | 「教育心理研究」第7巻第5号 | 259-277 | 1932(S.7)-5 | |
| 176 | 〈教育時評〉精神文化研究所と思想研究所 | 附録「教育」第11号 | 58-60 | 1932(S.7)-8 | |
| 177 | 性教育の問題シンポジウム(『岩波講座 教育科学』第12冊 所収) | 岩波書店 | 40-48 | 1932(S.7)-9 | ● |
| 178 | 生の哲学と生活の心理学 | 「理想」第34号 | 59-71 | 1932(S.7)-10 | * |
| 179 | 平岡伴一氏編『国語国語問題文献目録』を讀みて | 附録「教育」第11号 | 31 | 1932(S.7)-10 | |
| 180 | 日本思想と生活心理学(法政大学日本精神史学会編『日本精神史論纂』第一巻 所収) | 岩波書店 | 1-27 | 1932(S.7)-11 | |
| 181 | 形容詞の意味変化について(法政大学日本精神史学会編『日本精神史論纂』第一巻 所収) *澤田慶輔と共著 | 岩波書店 | 61-85 | 1932(S.7)-11 | |
| 182 | ブレンターノの文化心理学より觀たるマルキシズムとファシズムの哲学 | 「心理学研究」第7巻第6輯 | 985-993 | 1932(S.7)-12 | |
| 183 | 現代の心理学と国語教育 | 「教育・国語教育」特別号第二輯 | | 1932(S.7)- | 未見 |
| 184 | 大学教育に於ける心理学の使命 | 「法政大学新聞」第30号 | 2面 | 1933.1.16付 | * |
| 185 | 言語と教育(『岩波講座 教育科学』第16冊所収) | 岩波書店 | 全37頁 | 1933(S.8)-1 | |
| 186 | 現代の社会と学校教育の使命 | 附録「教育」第17号 | 47-49 | 1933(S.8)-2 | |
| 187 | 小学校の赤化問題 | 附録「教育」第18号 | 51-54 | 1933(S.8)-3 | |
| 188 | 幼児生活の環境心理学的考察 | 「社会事業」第17巻第1号 | 50-56 | 1933(S.8)-4 | ● |
| 189 | 新「小学国語読本」の批判—新小学国語読本 卷一を讀みて— | 「教育」第1巻第1号 | 48-52 | 1933(S.8)-4 | |
| 190 | 〈座談会〉教育風土記長野県の巻(その1) | 「教育」第1巻第1号 | 109-115 | 1933(S.8)-4 | |
| 191 | 国語教育の発見原理 | 「文学」第1巻第1号 | 175-179 | 1933(S.8)-4 | |
| 192 | 〈座談会〉教育風土記長野県の巻(その2) | 「教育」第1巻第2号 | 106-118 | 1933(S.8)-5 | |
| 193 | (人物の片影) 城戸幡太郎著 | 「教育週報」第416号 | 4面 | 1933.5.6付 | * |
| 194 | 教員組合の結成 | 「教育週報」第420号 | 2面 | 1933.6.3付 | * |
| 195 | 教育景観態—教育地理学の問題— | 「教育」第1巻第3号 | 1-15 | 1933(S.8)-6 | |
| 196 | (書評)尾高豊著作『学校教育と郷土教育』/海後・飯田・伏見共著『わが国に於ける郷土教育と其施設』 | 「教育」第1巻第3号 | 144-147 | 1933(S.8)-6 | |
| 197 | 懸賞論文審査短評 | 「教育」第1巻第4号 | 80 | 1933(S.8)-7 | |
| 198 | ナチスのために罷免されたアウグスト・メッサー教授の教育学について | 「教育」第1巻第4号 | 104-107 | 1933(S.8)-7 | |
| 199 | 京大事件の紛擾面 *筆名・秋津豊彦 | 「教育」第1巻第4号 | 128-140 | 1933(S.8)-7 | |
| 200 | 為政者に都合のいい保障案は御免だ | 「教育週報」第427号 | 2面 | 1933.7.22付 | * |
| 201 | 大学と教育(『岩波講座 教育科学』第20冊所収) | 岩波書店 | 全38頁 | 1933(S.8)-8 | |
| 202 | 社会的教育学(『岩波講座 教育科学』第20冊所収) | 岩波書店 | 全21頁 | 1933(S.8)-8 | |
| * | 漫画にして(24) 城戸幡太郎著 | 「教育週報」第436号 | 1面 | 1933.9.23付 | |
| 203 | 仮名遣誤記調査 | 「教育」第1巻第6号 | 32-49 | 1933(S.8)-9 | |
| 204 | 〈座談会〉教育風土記新潟県の巻(その1) | 「教育」第1巻第6号 | 197-212 | 1933(S.8)-9 | |
| 205 | 〈座談会〉教育風土記新潟県の巻(その2) | 「教育」第1巻第7号 | 205-218 | 1933(S.8)-10 | |
| 206 | (教育時評)五・一五事件と教育者の態度 | 「教育」第1巻第7号 | 225-227 | 1933(S.8)-10 | |

| No. | 著書・論文名 | 誌名・巻号/発行所 | 頁 | 発行年月 | 備考 |
|-----|--|------------------|-----------|--------------|----|
| 207 | 故増田惟茂博士の生涯と学説—学説の発展について— | 「心理学研究」第8巻第5輯 | 813-820 | 1933(S.8)-10 | |
| 208 | 言語の教育的環境に就いて(日本心理学会編『心理学論文集(IV)』所収) *井原正男と共著 | 岩波書店 | 68-72 | 1933(S.8)-10 | |
| 209 | 感性的形容詞に表現された生活感情の意味(日本心理学会編『心理学論文集(IV)』所収) *澤田慶輔と共著 | 岩波書店 | 184-188 | 1933(S.8)-10 | |
| 210 | 技芸教育の問題と方法 | 「教育」第1巻第8号 | 1-8 | 1933(S.8)-11 | |
| 211 | (教育時評) 美術学校と美術博覧会 | 「教育」第1巻第8号 | 131-133 | 1933(S.8)-11 | |
| 212 | (書評) 増田著『実験心理学』 | 「帝国大学新聞」第503号 | 4面 | 1933.11.27付 | * |
| 213 | (教育時評) 教育の国策について | 「教育」第1巻第9号 | 143-144 | 1933(S.8)-12 | |
| 214 | 職業教育と職業指導 | 「職業指導」第6巻第12号 | 15-18 | 1933(S.8)-12 | |
| 215 | 児童は如何に仮名遣を誤るか | 「教育」特報 | | 1933(S.8)- | * |
| 216 | 表現の心理学(一)—法政大学心理学研究室実験報告— | 「心理学研究」第9巻第1輯 | 1-5 | 1934(S.9)-2 | |
| 217 | (教育書評)「大山郷土読本」巻一を読み | 「教育」第2巻第2号 | 148-150 | 1934(S.9)-2 | |
| 218 | (教育評論) 改定尋常小学修身書を読み | 「教育」第2巻第3号 | 123-126 | 1934(S.9)-3 | |
| 219 | 資本主義的自由主義の産物 | 「教育週報」第460号 | 9面 | 1934.3.10付 | * |
| 220 | (座談会) 新入学児童と教育問題 | 「教育」第2巻第4号 | 112-128 | 1934(S.9)-4 | |
| 221 | 教権は何処へ | 「帝国教育」第646号 | 4-10 | 1934(S.9)-4 | |
| 222 | 国語の表現法と国民性(日本文化研究会編『日本精神研究 第一輯 日本精神論』所収) | 東洋書院 | 171-180 | 1934(S.9)-6 | |
| 223 | 形態知覚の時間構造—表現の心理学(二)— *井原正男と共著 | 「心理学研究」第9巻第3輯 | 401-432 | 1934(S.9)-6 | |
| 224 | 「児童学とは何か」の座談会 *城戸ほか4名 | 「教材と児童学研究」第1巻第2号 | 10-22 | 1934(S.9)-6 | |
| 225 | 「にんじん」の教育座談会 | 「教育」第2巻第7号 | 61-74 | 1934(S.9)-7 | |
| 226 | (教育時評) 学長を排斥する郷土教育 | 「教育」第2巻第7号 | 118-120 | 1934(S.9)-7 | |
| 227 | 自身の改革 | 「教育週報」第480号 | 2面 | 1934.7.28付 | |
| 228 | 〈私学経営問題シンポジウム〉教育なき学校 | 「教育」第2巻第8号 | 100-105 | 1934(S.9)-8 | |
| 229 | 統制教育の必要 | 「帝国教育」第656号 | 9-14 | 1934(S.9)-9 | |
| 230 | 文部省無力 | 「教育週報」第487号 | 2面 | 1934.9.15付 | * |
| 231 | (書評) 故増田博士の遺著『心理学の研究法』 | 「帝国大学新聞」第542号 | 4面 | 1934.9.24付 | * |
| 232 | 表現学序説(『国語科学講座第IX 国語表現学』所収) | 明治書院 | 全57頁 | 1934(S.9)-10 | |
| 233 | 言語表現における意味の融通性と限定性(『松本亦太郎博士古稀記念論文集』所収) | 「心理学研究」第9巻第5・6合輯 | 1013-1038 | 1934(S.9)-11 | |
| 234 | 生命影響の新教育(問と答) | 「教育週報」第500号 | 4面 | 1934.12.15付 | * |
| 235 | 職業統制と計画教育 | 「産業と教育」第2巻第1号 | 37-41 | 1935(S.10)-1 | |
| 236 | 社会事業と社会教育 | 「社会事業研究」第23巻第2号 | 1-6 | 1935(S.10)-2 | |
| 237 | 我国における心理学関係文献蒐録について *松本金寿との共著 | 「心理学研究」第10巻第1輯 | 151-154 | 1935(S.10)-2 | |
| 238 | (教育書評) 山本猛著『幼稚園託児所・保育学綱要』 | 「教育」第3巻第2号 | 121-123 | 1935(S.10)-2 | |
| 239 | 大衆教育の体系について | 「産業と教育」第2巻第3号 | 38-45 | 1935(S.10)-3 | |
| 240 | 児童研究の歴史と問題—児童心理学の問題を中心として— *1935.3.10脱稿 | 「教育」第3巻第4号 | 1-21 | 1935(S.10)-4 | |
| 241 | 政権と教権 | 「教育」第3巻第5号 | 1-6 | 1935(S.10)-5 | |

| No | 著書・論文名 | 誌名・巻号／発行所 | 頁 | 発行年月 | 備考 |
|-----|---|-------------------|---------|---------------|----|
| 242 | 大石氏の考察法について | 「教育」第3巻第5号 | 36-38 | 1935(S.10)-5 | |
| 243 | 石山脩平著『教育的解釈学』 | 「教育」第3巻第5号 | 121-124 | 1935(S.10)-5 | |
| 244 | 国語に表現された日本人の色彩感覚（法政大学日本精神史学会編『日本精神史論纂』第二巻 所収） | 岩波書店 | 245-265 | 1935(S.10)-5 | |
| 245 | 形象と技術—教育学の方法についての試論— | 「教育」第3巻第6号 | 1-8 | 1935(S.10)-6 | |
| 246 | 美濃部問題の教育的意義 | 「帝国教育」第675号 | 6-13 | 1935(S.10)-6 | * |
| 247 | 美術政策と美術教育 *1935.6.14脱稿 | 「教育」第3巻第7号 | 111-115 | 1935(S.10)-7 | |
| 248 | 教育者としての増田博士『増田博士謝恩・最新心理学論文集』所収 | 岩波書店 | 457-463 | 1935(S.10)-8 | |
| 249 | 教育上より見たる児童虐待防止 | 「社会事業」第19巻第6号 | 27-32 | 1935(S.10)-9 | |
| 250 | 実業教育の組織並運用に関する座談会 | 「産業と教育」第2巻第9号 | 45-68 | 1935(S.10)-9 | |
| 251 | 政治運動と政治教育運動 | 「帝国教育」第680号 | 90-95 | 1935(S.10)-9 | * |
| 252 | 『国語表現学』 | 賢文館 | 全393頁 | 1935(S.10)-10 | |
| 253 | (座談会) 教員と政治運動 | 「教育」第3巻第10号 | 73-90 | 1935(S.10)-10 | |
| 254 | 学説の形態論 | 「帝国大学新聞」第596号 | 9面 | 1935.10.28付 | * |
| 255 | 書相学の実験的研究（日本心理学会編『心理学論文集（V）』所収） *乾孝と共著 | 岩波書店 | 93-98 | 1935(S.10)-12 | |
| 256 | 意識の律動学と形成学について（日本心理学会編『心理学論文集（V）』所収） | 岩波書店 | 134-138 | 1935(S.10)-12 | |
| 257 | 混色過程の分析1 *井原正男との共著 | 「心理学研究」第10巻第5・6合輯 | 725-743 | 1935(S.10)-12 | |
| 258 | 『国語表現学』（師範大学講座・国語教育第九・十巻） | 建文館 | 全104頁 | 1935(S.10) | |
| 259 | 国語表現学（『岩波講座 国語教育第二巻・国語教育の学的機構』所収） | 岩波書店 | 全39頁 | 1936(S.11) | |
| 260 | 教育の科学的方法について | 「教育研究」第444号 | 54-60 | 1936(S.11)-1 | |
| 261 | (教育時評) 宗教・国家・教育 | 「教育」第4巻第1号 | 243-248 | 1936(S.11)-1 | |
| 262 | 解釈学より見たる日本文学の研究 | 「文学」第4巻第2号 | 19-29 | 1936(S.11)-2 | * |
| 263 | (学説摘要) 表現学の問題／生活表現の国語 | 「教育論叢」第35巻第2号 | 106-109 | 1936(S.11)-2 | * |
| 264 | 入学試験問題座談会 | 「教育」第4巻第2号 | 40-51 | 1936(S.11)-2 | |
| 265 | 作家と作品との問題 | 「帝国大学新聞」第615号 | 7面 | 1936.3.9付 | * |
| 266 | 保姆養成の問題 | 「教育」第4巻第3号 | 19-26 | 1936(S.11)-3 | |
| 267 | 学齡問題と教科の改正 | 「教育」第4巻第3号 | 54-56 | 1936(S.11)-3 | |
| 268 | 色彩の表現論について—表現の心理学(III)— *篠目綾子と共著 | 「心理学研究」第11巻第2輯 | 194-206 | 1936(S.11)-4 | |
| 269 | 『教育学辞典』第一巻（ア〜ク） 〈執筆項目〉 「意味」「ヴァント」「解釈学」「書き方教育」「学神祭」「革命」「仮象」（高橋里美と共著）「価値心理学」「学校紛擾」「玩具及び遊具」（小林宗作と共著）「基礎科学と補助科学（教育学の）」「機能的心理学」「教育研究法」「教育的文学」「教育の段階」「興味」（佐藤熊治郎と共著） | 岩波書店 | 省略 | 1936(S.11)-5 | |
| 270 | 蘆田恵之助氏にものを聴く会 | 「教育」第4巻第5号 | 102-115 | 1936(S.11)-5 | |
| 271 | 日本応用心理学大会の開催に就て | 「教育」第4巻第5号 | 122-124 | 1936(S.11)-5 | |
| 272 | (座談会) 社会大衆党に教育政策を訊く | 「産業と教育」第3巻第5号 | 38-51 | 1936(S.11)-5 | |
| 273 | ラヂオと児童文化 | 「放送」第6巻第5号 | 4-7 | 1936(S.11)-5 | |
| 274 | 言語の表現と解釈とについて—表現の心理学(IV)— *井原正男と共著 | 「心理学研究」第11巻第5輯 | 463-480 | 1936(S.11)-6 | |
| 275 | 「教育改革」座談会 | 「教育」第4巻第6号 | 53-74 | 1936(S.11)-6 | |
| 276 | 第六十九議会における平生文相の答弁について | 「教育」第4巻第6号 | 119-122 | 1936(S.11)-6 | |

| No | 著書・論文名 | 誌名・巻号/発行所 | 頁 | 発行年月 | 備考 |
|-----|---|-----------------|---------|---------------|----|
| 277 | 教育者の反省すべきもの | 「帝国教育」第692号 | 26-31 | 1936(S.11)-6 | * |
| 278 | (座談会) 義務教育年限の延長問題に就いて | 「教育」第4巻第7号 | 74-89 | 1936(S.11)-7 | |
| 279 | 教育政策と社会政策 | 「産業と教育」第3巻第7号 | 2-7 | 1936(S.11)-7 | |
| 280 | 『心理学史(上)』(現代哲学全集第八巻) | 日本評論社 | 全318頁 | 1936(S.11)-9 | |
| 281 | 学校教育の意義—機能主義の教育— | 「生活学校」第2巻第9号 | 4-8 | 1936(S.11)-9 | |
| 282 | 協会誌の発刊を祝す | 「愛護」第1巻第1号 | 3 | 1936(S.11)-9 | ★ |
| 283 | 教学刷新の意義 | 「放送」第6巻第11号 | 4-7 | 1936(S.11)-11 | * |
| 284 | 教育と映画 | 「教育」第4巻第11号 | 1-12 | 1936(S.11)-11 | |
| 285 | (座談会) 教育国策の指導精神を語る | 「産業と教育」第3巻第10号 | 33-52 | 1936(S.11)-11 | * |
| 286 | 或る低能児に試みた算術教授とその効果に就いて * 吉沢安雄と共著 | 「応用心理研究」第4巻第2号 | 201-202 | 1936(S.11)-11 | ★ |
| 287 | 児童文化と放送教育 | 「教育」第4巻第12号 | 1-13 | 1936(S.11)-12 | |
| 288 | (座談会) ラヂオ放送と小学校及び青年学校 | 「教育」第4巻第12号 | 80-96 | 1936(S.11)-12 | |
| 289 | 教育史の研究法 | 「教育」第5巻第1号 | 1-13 | 1937(S.12)-1 | |
| 290 | 特殊児童保護事業に就て—保護教育と生活協 同体の問題— | 「社会事業研究」第25巻第1号 | 114-118 | 1937(S.12)-1 | ★ |
| 291 | 心理学・精神物理学の将来—研究の偏倚を反省せよ— | 「帝国大学新聞」第657号 | 6面 | 1937.1.25付 | * |
| * | (文献批評) 黒田亮: 城戸幡太郎著『心理学史(上)』 | 「心理学研究」第12巻第1輯 | 81-83 | 1937(S.12)-2 | |
| 292 | 教育改革運動の根本義 | 「教育」第5巻第2号 | 4-10 | 1937(S.12)-2 | |
| 293 | 自由遊びについての調査 | 「教育」第5巻第2号 | 48-57 | 1937(S.12)-2 | |
| 294 | 『教育学辞典』第二巻(ケ〜シ) 〈執筆項目〉 「形象」「言語教育」「言語社会学」「言語心理学」 「言語哲学」「行動主義」「国語政策」「個性」(佐藤 熊治郎と共著)「ジュームズ」「思考」「自叙伝」「実 証論」(佐藤信衛と共著)「児童学」「児童社会学」 「児童心理学」「社会主義」(河合栄治郎と共著)「自 由主義」(同前)「集団教育と個別教育」「主情説」 (粟田賢三と共著)「趣味」「象徴」「衝動」「書相学」 「進化論」(小泉丹ほかと共著)「神職」(留岡清男 と共著)「心理学」「神話及び神話学」(村松武雄と 共著) | 岩波書店 | 省略 | 1937(S.12)-2 | ● |
| 295 | 教育的年齢の問題 | 「教育」第5巻第3号 | 1-6 | 1937(S.12)-3 | |
| 296 | 〈座談会〉未成年者年齢限定の問題 | 「教育」第5巻第3号 | 35-50 | 1937(S.12)-3 | |
| 297 | 計画教育の必要性 | 「社会事業の友」第100号 | 104-105 | 1937(S.12)-3 | * |
| 298 | 児童の教育的保護について | 「私設社会事業」第50号 | 12-13 | 1937(S.12)-4 | * |
| 299 | 二つの現象形態について—精神物理学の問題を中心として—(黒田亮編『速水博士還暦記念心理学 哲学論文集』所収) | 岩波書店 | 98-116 | 1937(S.12)-4 | |
| 300 | 中学校の改革案について | 「教育」第5巻第4号 | 1-9 | 1937(S.12)-4 | |
| 301 | 「児童文学」座談会—「嵐の中の子供」を中心として— | 「教育」第5巻第4号 | 51-63 | 1937(S.12)-4 | |
| 302 | 嗅覚における様相通有性について * 吉田正吉と共著 | 「心理学研究」第12巻第2輯 | 95-111 | 1937(S.12)-4 | |
| 303 | 学校作業の意義 | 「教育研究」第463号 | 80-83 | 1937(S.12)-4 | |
| 304 | 学校放送の可能と限界 | 「放送」第7巻第4号 | 6-8 | 1937(S.12)-4 | * |
| 305 | 師範教育の改革案について | 「教育」第5巻第5号 | 18-25 | 1937(S.12)-5 | |
| 306 | 教育立地論 | 「教育」第5巻第6号 | 1-7 | 1937(S.12)-6 | |
| 307 | (視察と訪問) 愛媛県温泉郡新浜村小学校を観る | 「教育」第5巻第6号 | 70-72 | 1937(S.12)-6 | |
| 308 | 幼児生活と保育者 | 「教育論叢」第37巻第6号 | 1-9 | 1937(S.12)-6 | * |
| 309 | (書評) 阿部重孝博士著『教育改革論』 | 朝日新聞 1937.6 | 縮刷版114頁 | 1937(S.12)-6 | * |
| 310 | 「熟練工養成問題」座談会 | 「教育」第5巻第7号 | 65-80 | 1937(S.12)-7 | |

| No. | 著書・論文名 | 誌名・巻号／発行所 | 頁 | 発行年月 | 備考 |
|-----|---|--------------------|-------|---------------|----|
| 311 | 石井亮一先生を偲ぶ | 「社会事業」第21巻第4号 | 42-46 | 1937(S.12)-7 | ★ |
| 312 | 児童学と精神発達理論 | 「教育」第5巻第8号 | 1-15 | 1937(S.12)-8 | |
| 313 | 社会教育の系統化 | 「教育」第5巻第9号 | 1-6 | 1937(S.12)-9 | |
| 314 | 農村を検討する | 「家庭」第7巻第9号 | 43-44 | 1937(S.12)-9 | * |
| 315 | 源氏物語における性格表現の問題 | 「文学」第5巻第10号 | 74-86 | 1937(S.12)-10 | |
| 316 | 生活学校巡礼 | 「教育」第5巻第10号 | 48-56 | 1937(S.12)-10 | |
| 317 | 我等何をなすべきか | 「保育問題研究」第1巻第1号 | 1-3 | 1937(S.12)-10 | |
| 318 | フレーベルとオーウェン | 「保育問題研究」第1巻第2号 | 1 | 1937(S.12)-11 | |
| 319 | 美術家の児童観—第一回文部省美術展覧会を觀て— | 「保育問題研究」第1巻第2号 | 19-20 | 1937(S.12)-11 | |
| 320 | 国策を基調とせよ | 「日本読書新聞」第27号 | 2面 | 1937.11.25付 | * |
| 321 | 教具史観より觀たる映画教育の意義(1) | 「映画教育」第117輯 | 8-12 | 1937(S.12)-11 | * |
| 322 | 教具史観より觀たる映画教育の意義(2) | 「映画教育」第118輯 | 14-19 | 1937(S.12)-12 | * |
| 323 | 精神薄弱児問題座談会 | 「愛護」第1巻第4—7号 | 19-24 | 1937(S.12)-12 | ★ |
| 324 | 小金井学園の教育 | 「治療教育」第1輯(小金井学園発行) | 1-2 | 1937(S.12)-12 | ★ |
| 325 | 文政革新問題に関する意見(国策研究会編「文政革新に関する研究資料」所収) | 国策研究会・研究資料第6号 | 31-33 | 1937(S.12)-12 | |
| 326 | 日本諸学振興委員会は何をなすべきか | 「教育」第5巻第12号 | 95-98 | 1937(S.12)-12 | |
| 327 | 民族性と国民性(文部省教学局編「日本諸学振興委員会研究報告」第2編(哲学)所収) | | 57-63 | 1938(S.13)-1 | * |
| 328 | 生活技術としての国語 | 「文学」第6巻第1号 | 87-90 | 1938(S.13)-1 | |
| 329 | 幼児教育の研究法 | 「保育問題研究」第2巻第1号 | 2-4 | 1938(S.13)-1 | |
| 330 | 今後職業指導は如何にしたらよいか | 「職業指導」第11巻第1号 | 56 | 1938(S.13)-1 | * |
| 331 | 混色過程の分析(2) *乾孝と共著 | 「心理学研究」第13巻第1輯 | 46-54 | 1938(S.13)-2 | |
| 332 | 〈教育シンポジウム〉文化政策と外国語教育 | 「教育」第6巻第2号 | 48-50 | 1938(S.13)-2 | |
| 333 | 批評を讀みて | 「教育」第6巻第2号 | 72-73 | 1938(S.13)-2 | |
| 334 | 人的資源の教育的開発 | 「治療教育」第2輯(小金井学園発行) | 1-3 | 1938(S.13)-2 | ★ |
| 335 | 教育審議会に望む一特に大学教育の改革について— | 「帝国教育」第712号 | 57-61 | 1938(S.13)-2 | * |
| 336 | 山田氏の報告について | 「教育」第6巻第3号 | 113 | 1938(S.13)-3 | |
| 337 | 保姆は子供に何を求むべきか | 「保育問題研究」第2巻第2・3号 | 2-4 | 1938(S.13)-3 | |
| 338 | 青年教育の組織化 | 「青年と教育」第3巻第3号 | 5-8 | 1938(S.13)-3 | |
| 339 | 混色過程の分析(第二報)(日本心理学会編「心理学論文集(VI)」所収) *井原正男・乾孝と共著 | 岩波書店 | 82-86 | 1938(S.13)-4 | |
| 340 | 保姆は子供に何を求めているか | 「保育問題研究」第2巻第4号 | 2-4 | 1938(S.13)-4 | |
| 341 | (座談会) 子女の家庭教育と不良化防止を語る *1938.3.18 於・日比谷山水楼 | 「少年保護」第3巻第4号 | 36-79 | 1938(S.13)-4 | ★★ |
| 342 | 映画教育十週年を迎へての感想と希望 | 「映画教育」第122輯 | 10 | 1938(S.13)-4 | * |
| 343 | 「教育学辞典」第三巻(ス〜ヒ) 〈執筆項目〉 「スピノザ」「スミス」「精神史」「全体主義」「宣伝」「哲学及び哲学史」(小山朝絵と共著)「デモクラシー」(河合栄治郎と共著)「統覚」「内省」「芳賀矢一」「バルト」「反射学」「百科全書」「表現」「表現学」「ヒルデブラント」 | 岩波書店 | 省略 | 1938(S.13)-5 | |
| 344 | (書評) 表現された感化院・福田清人著『指導者』 | 「帝国大学新聞」第719号 | 7面 | 1938.5.9付 | * |
| 345 | 「生活教育」座談会 | 「教育」第6巻第5号 | 70-87 | 1938(S.13)-5 | |

| No | 著書・論文名 | 誌名・巻号/発行所 | 頁 | 発行年月 | 備考 |
|-----|---|------------------|----------|---------------|----|
| 346 | 青年学校教育義務制実施と青少年保護立法 | 「青年と教育」第3巻第6号 | | 1938(S.13)-6 | * |
| 347 | 青年学校教育義務制実施案要綱について | 「教育」第6巻第7号 | 33-35 | 1938(S.13)-7 | |
| 348 | 〈問題と批判〉国語に対する山本有三氏の意見について(安倍能成, 金田一京助ら38氏) | 「文学」第6巻第7号 | 104-105 | 1938(S.13)-7 | * |
| 349 | 映画技術と映画教育 | 「映画教育」第125輯 | 12-17 | 1938(S.13)-7 | * |
| 350 | 教育の寿命 | 「教育」第6巻第8号 | 99-101 | 1938(S.13)-8 | |
| 351 | 農繁期託児所の問題 | 「保育問題研究」第2巻第8号 | 2-3 | 1938(S.13)-8 | |
| 352 | 放送番組編成への提案 | 「放送」第8巻第8号 | 15 | 1938(S.13)-8 | * |
| 353 | 大学の自治について | 「教育」第6巻第9号 | 11-15 | 1938(S.13)-9 | |
| 354 | (教育文化時評)「路傍の石」と「綴方教室」 | 「教育」第6巻第10号 | 218-223 | 1938(S.13)-9 | |
| 355 | 利用の教育 | 「保育問題研究」第2巻第9号 | 2-3 | 1938(S.13)-9 | |
| 356 | 事変下児童向放送への註文 | 「放送」第8巻第9号 | 17 | 1938(S.13)-9 | * |
| 357 | 文化と生活様式 | 「教育」第6巻第10号 | 16-23 | 1938(S.13)-10 | |
| 358 | 保姆と教養 | 「保育問題研究」第2巻第10号 | 1-3 | 1938(S.13)-10 | |
| 359 | “子供の時間”に与ふ | 「放送」第8巻第10号 | 22-23 | 1938(S.13)-10 | * |
| 360 | 幼児教育は国民教育の基礎 | 「婦女新聞」第2003号 | 2面 | 1938.10.30付 | * |
| 361 | (書評)篠原助市著『教育断想』 | 朝日新聞 1938.11 | 縮刷版 279頁 | 1938(S.13)-11 | * |
| 362 | 国民教育と幼児教育—幼稚園と託児所との問題— | 「保育問題研究」第2巻第11号 | 1-4 | 1938(S.13)-11 | |
| 363 | (教育時評)師範学校改善策について | 「教育」第6巻第12号 | 87-91 | 1938(S.13)-12 | |
| 364 | 〈保育問題講座〉保育学総論(1) | 「保育問題研究」第2巻第12号 | 1-3 | 1938(S.13)-12 | |
| 365 | 幼児生活の形態化とラヂオ | 「保育問題研究」第2巻第12号 | 11-12 | 1938(S.13)-12 | |
| 366 | 児童の逆文字について | 「心理学研究」第13巻第6輯 | 554-560 | 1938(S.13)-12 | |
| 367 | 貧困児童の教育問題 | 「社会事業研究」第26巻第12号 | 1-7 | 1938(S.13)-12 | |
| 368 | 【教育学辞典】第四巻(フ〜フ) 〈執筆項目〉 「ファルク(アダルベルト)」「風紀」「風土」「プラグマティズム」(木場深定と共著)「文化心理学」「兵役」「ペーコン(フランシス)」「ヘルパッハ」「ペーシ(アレグサンダー)」「保育事業」「方言と標準語」「報道」「方面委員制度」(大友宗嗣と共著)「母語」「補助学校及び補助学級」(松本金寿・青木誠四郎・奥田三郎・吉益脩夫と共著)「翻訳」(佐藤信衛と共著)「マルクス主義」(河合栄治郎と共著)「ミル」「ミルトン」「民族心理学」「迷信」「メッサー」「文字」「問題史」「問題児」「ユートピア」(河合栄治郎と共著)「ラスキン」「ラッセル」「倫理学」「レニン」「ロシア革命と教育」「ロック」「石井莞一」 | 岩波書店 | | 1939(S.14)-1 | ★ |
| 369 | 保護教育の体制について | 「少年保護」第4巻第1号 | 17-21 | 1939(S.14)-1 | ★ |
| 370 | 新東亜教育と東亜協同体 | 「教育」第7巻第1号 | 1-6 | 1939(S.14)-1 | ● |
| 371 | 新東亜教育と大学の再組織 | 「法政大学新聞」第91号 | 2面 | 1939.1.5付 | * |
| 372 | 文部省改造に関する提案 *筆名:秋津豊彦 | 「教育」第7巻第1号 | 101-109 | 1939(S.14)-1 | |
| 373 | 〈保育問題講座〉保育学総論(2) | 「保育問題研究」第3巻第1号 | 3-7 | 1939(S.14)-1 | |
| 374 | 小学教育は世界一だが学術政策は全く無計画 | 「日本読書新聞」第71号 | 3面 | 1939.1.25付 | ★★ |
| 375 | 幼児教育と国民教育 | 「教育」第7巻第2号 | 8-14 | 1939(S.14)-2 | ★ |
| 376 | 遊具と子供の社会生活—幼稚園と託児所とにおける比較— | 「教育」第7巻第2号 | 56-61 | 1939(S.14)-2 | |
| 377 | 〈保育問題講座〉保育学総論3 | 「保育問題研究」第3巻第2号 | 1-4 | 1939(S.14)-2 | |
| 378 | 教育改革の根本問題 | 「改造」第21巻第2号 | 24-33 | 1939(S.14)-2 | * |
| 379 | (思想梗概)生活技術としての国語 | 「教育論叢」第39巻第2号 | 124-126 | 1939(S.14)-2 | |

| No. | 著書・論文名 | 誌名・巻号／発行所 | 頁 | 発行年月 | 備考 |
|-----|---|--------------------|---------|---------------|----|
| 380 | 教科書問題の検討 | 「教育」第7巻第3号 | 19-25 | 1939(S.14)-3 | |
| 381 | 学問に派閥を作る文部省 *筆名：秋津豊彦 | 「教育」第7巻第3号 | 130-134 | 1939(S.14)-3 | |
| 382 | 形態心理学の問題 | 「中央公論」第54年4号(619号) | 438-445 | 1939(S.14)-4 | |
| 383 | 山本有三氏と国語問題 | 「国語運動」第3巻第4号 | 39-44 | 1939(S.14)-4 | |
| 384 | 国語政策と言語教育 | 「国語教育誌」 | | 1939(S.14)-4 | *親 |
| 385 | 児童文化政策 | 「教育」第7巻第5号 | 15-20 | 1939(S.14)-5 | |
| 386 | (座談会) 不良少女少年の問題 | 「婦人之友」第33巻第5号 | 46-63 | 1939(S.14)-5 | * |
| 387 | 『生活技術と教育文化』 | 賢文館 | 全235頁 | 1939(S.14)-6 | |
| 388 | 文部の人事行政に就て *筆名：秋津豊彦 | 「教育」第7巻第6号 | 84-90 | 1939(S.14)-6 | |
| 389 | 興亜教育と国語政策 | 「文検世界」第25巻第6号 | 7-9 | 1939(S.14)-6 | * |
| 390 | 後継者の養成 | 「帝国大学新聞」第772号 | 6面 | 1939.6.26付 | * |
| 391 | 阿部重孝教授と日本の教育科学 | 「教育」第7巻第7号 | 58-60 | 1939(S.14)-7 | |
| 392 | 〈保育問題講座〉 幼児の言語教育 | 「保育問題研究」第3巻第7号 | 1-6 | 1939(S.14)-7 | |
| 393 | 精神欠陥者保護法制度の必要 | 「児童保護」第9巻第7号 | 2-7 | 1939(S.14)-7 | ★ |
| 394 | 精神欠陥者保護法制定に対する要望 | 「精神衛生」第14年第4号 | 2-5 | 1939(S.14)-8 | ★ |
| 395 | 精神薄弱児に対する教育法規並びに保護法規の制定について | 「社会事業研究」第27巻第8号 | 27-32 | 1939(S.14)-8 | ★ |
| 396 | 精神薄弱者保護法制定に之か保護施設拡充方要望に関する件建議 | 「心理学研究」第14巻特輯 | 119-123 | 1939(S.14)-8 | ★ |
| 397 | 精神薄弱者に関する教育法規制定並に之か教育施設拡充方要望に関する件建議 | 「心理学研究」第14巻特輯 | 123-126 | 1939(S.14)-8 | ★ |
| 398 | 犯罪を為し又は犯罪を為す虞ある精神薄弱者を対象とする保護施設の整備拡充方要望に関する件建議 | 「心理学研究」第14巻特輯 | 126-127 | 1939(S.14)-8 | ★ |
| 399 | 視覚空間と視覚時間との関係について *井原法洞と共著 | 「心理学研究」第14巻特輯 | 4-5 | 1939(S.14)-8 | |
| 400 | 意識の律動性に関する実験 | 「心理学研究」第14巻特輯 | 26-27 | 1939(S.14)-8 | |
| 401 | 保姆に必要な素養 | 「社会事業」第23巻第5号 | 6-10 | 1939(S.14)-8 | |
| 402 | 義務教育免除規定の改正並びに精神薄弱者保護法制定の必要 | 「教育」第7巻第9号 | 1-5 | 1939(S.14)-9 | ★ |
| 403 | 教育の科学的企画性 | 「教育科学研究」第1巻第1号 | 1 | 1939(S.14)-9 | |
| 404 | 〈研究の跡をかへりみて〉 我等の反省すべきこと | 「保育問題研究」第3巻第9号 | 16-17 | 1939(S.14)-9 | |
| 405 | 文化新様式の創造 | 「思想」第209号 | 11-19 | 1939(S.14)-10 | |
| 406 | 国民教育と教育科学運動 | 「教育」第7巻第10号 | 1-5 | 1939(S.14)-10 | |
| 407 | 或る犯行少年の行動分析と性格変化に関する研究 *井原法洞と共著 | 「心理学研究」第14巻第4・5輯 | 297-306 | 1939(S.14)-10 | |
| 408 | 児童の立体的成形の一研究 *大山茂生と共著 | 「心理学研究」第14巻第4・5輯 | 327-338 | 1939(S.14)-10 | |
| 409 | ぐれた少年を持つ親の悩み・啓吉少年は如何にしてその性行を換へたか | 「少年保護」第4巻第10号 | 82-87 | 1939(S.14)-10 | ★ |
| 410 | 『幼児教育論』 | 賢文館 | 全235頁 | 1939(S.14)-11 | ● |
| 411 | (座談会) 教育刷新を語る | 「婦人之友」第33巻第11号 | 38-55 | 1939(S.14)-11 | * |
| 412 | 教材と教具とラジオ | 「学校放送研究」 | | 1939(S.14)-11 | *親 |
| 413 | 教育と科学(『最新日本教育学十二講(故近藤彌壽太追悼記念出版)』所収) | 文教書院 | 202-214 | 1939(S.14)-12 | |
| 414 | 幼児保育の本質と保姆の使命 | 「保育問題研究」第4巻第1号 | 2-6 | 1940(S.15)-1 | |
| 415 | 生活文化人の国語教育とその技術 | 「教育・国語」 | | 1940(S.15)-1 | 未見 |
| 416 | (座談会) 青年学生・大学教育を語る | 「公論」第3巻第1号 | 104-125 | 1940(S.15)-1 | * |
| 417 | 国民学校案は如何に実施さるべきか | 「教育科学研究」第2巻第1号 | 2-5 | 1940(S.15)-1 | |
| 418 | 国民学校案についての座談会 | 「教育研究」第508号 | 45-61 | 1940(S.15)-1 | |

| No | 著書・論文名 | 誌名・巻号/発行所 | 頁 | 発行年月 | 備考 |
|-----|--|-----------------|-------------------------------|--|-------------|
| 419 | 国語教育における形象の問題について | 国語教育誌 | | 1940(S.15)-1 | *未見 |
| 420 | 進学指導に対する心理学的考査の方法について | 「心理学研究」第15巻第1輯 | 57-61 | 1940(S.15)-2 | |
| 421 | 或る反抗少女の行動分析と性格変化・井原法洞と共著 | 「心理学研究」第15巻第1輯 | 62-71 | 1940(S.15)-2 | |
| 422 | 日本文化協会第一回児童文化賞受賞作品と推薦の言葉(林藤「私達のからだ」) | 「日本読書新聞」第110号 | 2面 | 1940.2.25付 | * |
| 423 | 「民生教育の立場から」 | 西村書店 | 全370頁 | 1940(S.15)-3 | |
| 424 | 国民学校と総合教授 | 「教育」第8巻第3号 | 9-12 | 1940(S.15)-3 | |
| 425 | 女子教育問題座談会 *出席者:鮎貝ひで 河崎なつ, 城戸幡太郎, 竹田菊, 藤田たき, 金子しげり | 「女性展望」第14巻第3号 | 2-7 | 1940(S.15)-3 | * |
| 426 | 長期建設期における社会事業について | 「社会事業」第24巻第4号 | 115-118 | 1940(S.15)-4 | |
| 427 | 時局と大学教育 | 「法政大学新聞」第114号 | 2面 | 1940.4.20付 | * |
| 428 | 新入学考査法検討座談会 | 「教育」第8巻第4号 | 110-133 | 1940(S.15)-4 | |
| 429 | 国民学校案の実施について | 「公論」第3巻第5号 | 122-126 | 1940(S.15)-5 | * |
| 430 | 石井先生の偉業を継ぐもの(滝乃川学園「滝乃川学園のその日その日—創立50周年記念特輯号—」所収) | | 11-13 | 1940(S.15)-5 | ★ |
| 431 | 興亜教育と国民学校 *「興亜教育」6月号より転載(原文未見) | 「教育論叢」第44巻第1号 | 11-13 | 1940(S.15)-7 | * |
| 432 | 農村保育所は如何に発展すべきか | 「愛育新聞」第3巻第6号 | | 1940(S.15) | 未見 |
| 433 | 第二回全国教・研究・協議会を迎ふるに当って | 「教育科学研究」第2巻第7号 | 2 | 1940(S.15)-7 | |
| 434 | 「石井亮一全集」(全3巻) *石井筆子, 奥田三郎と共編 | 石井亮一全集刊行会 | 1巻全298頁 2巻全472頁 3巻全319頁 | 1940(S.15)-7 1940(S.15)-8 1940(S.15)-9 | ★ ★ ★ |
| 435 | 新政治体制と教育の改革 | 「公論」第3巻第8号 | 95-101 | 1940(S.15)-8 | * |
| 436 | 〈座談会〉時局下教育国策を語る | 「教育」第8巻第9号 | 36-55 | 1940(S.15)-8 | |
| 437 | 〈座談会〉高等小学校の検討 | 「教育科学研究」第2巻第2号 | 2-8 | 1940(S.15)-9 | |
| 438 | 児童保護と国民教育 | 「児童保護」第10巻第9号 | 2-6 | 1940(S.15)-9 | |
| 439 | 新政治体制と新教育体制 | 「改造」第22巻第16号 | 75-78 | 1940(S.15)-9 | * |
| 440 | 〈座談会〉児童文化の新体制 | 「日本読書新聞」第133号 | 3面 | 1940.10.5付 | * |
| 441 | 新体制の思想原理 | 「教育」第8巻第10号 | 18-23 | 1940(S.15)-10 | |
| 442 | 転換期における青年問題座談会 *出席者:土橋喬雄, 杉山平助, 城戸幡太郎, 溝口勇夫, 宮本百合子(1940.8.29開催) | 「大陸」10月号 | 166-184 | 1940(S.15)-10 | * |
| 443 | 時代と大学の理念 | 「セルパン」11月号 | 38-42 | 1940(S.15)-11 | * |
| 444 | 〈座談会〉青年運動と婦人 *「大陸」10月号より | 「女性展望」第14巻第11号 | 12 | 1940(S.15)-11 | * |
| 445 | 〈座談会〉児童文化の建設 | 「公論」第3巻第11号 | 215-239 | 1940(S.15)-11 | * |
| 446 | 学術政策の確立 | 「日本学藝新聞」第98号 | 1面 | 1940.11.25付 | * |
| 447 | 国民文化の創造 | 「公論」第3巻第12号 | 94-97 | 1940(S.15)-12 | * |
| 448 | 国民学校の精神を活かすために | 「教育科学研究」第2巻第12号 | 1-4 | 1940(S.15)-12 | |
| 449 | 〈座談会〉教学刷新ヲ語ル *出席者:安部能成, 和辻哲郎, 谷川徹三, 城戸幡太郎, 留岡清男 | 「日本評論」第15巻第12号 | 188-210 | 1940(S.15)-12 | |
| 450 | 翼賛会の先導で児童文化の再編成—元的児童文化協会創立— *1940.12.24創立の懇談会での発言 | 「日本読書新聞」第142号 | 3面 | 1941.1.5付 | * |
| 451 | 政治的思考力を錬磨せよ | 「法政大学新聞」第128号 | 1面 | 1941.1.5付 | ★★ |
| 452 | 教育人口の問題(人口問題研究会編「第三回人口問題全国協議会報告書」所収) *第三回人口問題全国協議会(1939.11.6~7)での報告 | 刀江書院 | 73-79 | 1941(S.16)-1 | ★★ |

| No. | 著書・論文名 | 誌名・巻号／発行所 | 頁 | 発行年月 | 備考 |
|-----|--|-------------------------------------|---------|---------------|-----|
| 453 | 城戸教授翼賛会入り *1940.10.12大政翼賛会設立 *1940.12~1941.3大政翼賛会組織局連絡部副部長に就任 | 「法政大学新聞」第129号 | 3面 | 1941.1.20付 | * |
| 454 | 国民教育者に望む | 「婦人公論」第26年第1号 | 214-218 | 1941(S.16)-1 | * |
| 455 | 教育翼賛の道 | 「教育科学研究」第3巻第1号 | 2-3 | 1941(S.16)-1 | |
| 456 | 新しき日本人の型 | 「文藝春秋」第19巻第1号 | 50-56 | 1941(S.16)-1 | |
| 457 | 『児童文化』上巻・下巻（波多野完治・百田宗治と監修） *城戸：児童文化と国民文化（下巻）執筆 | 西村書店 | 3-10 | 1941(S.16) | |
| 458 | 国民学校令について | 「日本評論」第16年第4月号 | 46-51 | 1941(S.16)-4 | **★ |
| 459 | 〈座談会〉隣保組織と生活新体制 | 「教育」第9巻第6号 | 51-72 | 1941(S.16)-6 | |
| 460 | 〈座談会〉「教育奉公運動」を語る | 「教育」第9巻第7号 | 16-38 | 1941(S.16)-7 | |
| 461 | 児童相談施設の使命 | 「児童保護」第11巻第7号 | 2-5 | 1941(S.16)-7 | |
| 462 | 「地方文化の振興」を語る | 「教育」第9巻第8号 | 46-67 | 1941(S.16)-8 | |
| 463 | 学校の教育組織と動員組織 | 「改造」第23巻第17号 | 116-123 | 1941(S.16)-9 | * |
| 464 | 世界観と人間像 | 「教育」第9巻第9号 | 1-9 | 1941(S.16)-9 | |
| 465 | 少国民文化の問題 | 「婦女新聞」第2155号 | 2面 | 1941.9.28付 | * |
| 466 | 生活科学と生活教育 | 「教育」第9巻第10号 | 37-40 | 1941(S.16)-10 | |
| 467 | 塾・道場・学校 | 「日本評論」第16年第10月号 | 66-71 | 1941(S.16)-10 | * |
| 468 | 在学年限の短縮について | 「早稲田大学新聞」第227号 | 1面 | 1941.10.22付 | * |
| 469 | 国防と女子教育 | 「教育」第9巻第11号 | 28-30 | 1941(S.16)-11 | |
| 470 | 教育制度革新論—特に技術教育を中心として | 「技術評論」第18巻第12号 (No.227) *11月号と合併 | 2-6 | 1941(S.16)-12 | |
| 471 | 少年教護事業の将来に望む | 「児童保護」第11巻第11号 | 33-34 | 1941(S.16)-11 | |
| 472 | 青少年教育の指導理念(1) | 「少年保護」第6巻第11号 | 39-49 | 1941(S.16)-11 | |
| 473 | 青少年教育の指導理念(2) | 「少年保護」第6巻第12号 | 13-21 | 1941(S.16)-12 | |
| 474 | 国土計画と教育政策 | 「教育」第10巻第1号 | 27-30 | 1942(S.17)-1 | |
| 475 | 東亜の新秩序と宗教政策 | 「教育」第10巻第3号 | 8-13 | 1942(S.17)-3 | |
| 476 | 総合切符と生活の錬成—新しき生活秩序と生活態度— | 「中央公論」第57年第3号(665号) | 100-105 | 1942(S.17)-3 | |
| 477 | (座談会)「共栄圏の国語対策」を語る | 「国策研究会週報」第16巻第1号 | 312-319 | 1942(S.17)-3 | * |
| 478 | 教育と語学,特に英語教育について | 「日本読書新聞」第196号 | 1面 | 1942.4.20付 | * |
| 479 | 健民運動と生活科学運動 | 「教育」第10巻第5号 | 17-19 | 1942(S.17)-5 | |
| 480 | 「国民性格の錬成」座談会 | 「教育」第10巻第6号 | 18-40 | 1942(S.17)-6 | |
| 481 | (座談会)新しい女子教育の方向 | 「婦人公論」第27年第7号 | 52-63 | 1942(S.17)-7 | * |
| 482 | 国民保育と保育協同体(保育問題研究会編『国民保育のために』所収) | 帝国教育会出版部 | 3-15 | 1942(S.17)-8 | |
| 483 | 研究機関の完備を一学校教育への反省と将来への対策— | 「日本読書新聞」第215号 | 1面 | 1942.8.31付 | * |
| 484 | 青年技能者教育に就いて—桐原葆見氏を囲む会— | 「教育」第10巻第9号 | 50-73 | 1942(S.17)-9 | |
| 485 | (教育情報)少年工の不良化 | 「教育」第10巻第10号 | 76-78 | 1942(S.17)-10 | |
| 486 | (教育書評)坪田譲治著『虎彦龍彦』 | 「教育」第10巻第10号 | 79-80 | 1942(S.17)-10 | * |
| 487 | 『愛国百人一首』に寄す | 「日本読書新聞」第228号 | 1面 | 1942.11.30付 | * |
| 488 | 社会教育の計画化—特に読者群の指導組織について— | 「教育」第11巻第3号 | 1-6 | 1943(S.18)-3 | |
| 489 | 「教育」十年を顧みて | 「教育」第11巻第4号 | 78-79 | 1943(S.18)-4 | |
| 490 | (座談会)町の子供たちとその指導 | 「婦人之友」第37巻第4号 | 20-27 | 1943(S.18)-4 | * |

| No | 著書・論文名 | 誌名・巻号／発行所 | 頁 | 発行年月 | 備考 |
|-----|---|------------------|-------|---------------|----|
| 491 | 文化創造の根源力—高等学校に於ける全寮制度— | 「日本読書新聞」第244号 | 1面 | 1943.4.10付 | * |
| 492 | 留学生指導の問題 | 「帝国大学新聞」第947号 | 2面 | 1943.5.31付 | * |
| 493 | 大学及び研究所の問題 | 「教育」第11巻第7号 | 27-30 | 1943(S.18)-7 | |
| 494 | 学生と学問 | 「日本評論」第18年第9月号 | 15-20 | 1943(S.18)-9 | * |
| 495 | 戦ふ朝鮮の教育(上) | 「教育」第11巻第11号 | 19-30 | 1943(S.18)-11 | |
| 496 | 戦ふ朝鮮の教育(下) | 「教育」第11巻第12号 | 34-40 | 1943(S.18)-12 | |
| 497 | 工業都市計画と厚生文化 | 「厚生事業研究」第31巻第12号 | 2-5 | 1943(S.18)-12 | |
| 498 | 動員計画と大学問題 | 「教育」第11巻第12号 | 36-42 | 1944(S.19)-1 | |
| 499 | 戦乱から平和へ—扇谷正造著「立上る比島」— | 「帝国大学新聞」第972号 | 4面 | 1944.1.31付 | * |
| 500 | 疎開と教育の問題 | 「厚生問題」第28巻第6号 | 31-35 | 1944(S.19)-6 | |
| * | 1944.6.13, 城戸・留岡ら治安維持法違反容疑で検挙～1945.5.13釈放 | | | | |

(付記) 本目録は、日本教育学会第58回大会(1999年9月 於・玉川大学)において「日本における優生学の障害者教育・福祉への影響に関する歴史的研究(第I報) —昭和戦前期における優生学の『特殊教育』への影響の検討を中心に—」と題して発表した資料中の「城戸幡太郎文献目録」の部分を掲載するものである。なお本目録は、「はじめに」で記した1999(平成11)年度文部省科学研究補助金(課題番号11301009)による成果の一部である。